

皆さまには、平素より京都銀行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

当行に対するご理解を一層深めていただくため、ミニディスクロージャー誌2017「京都銀行からみなさまへ」を作成いたしました。ご高覧いただければ幸いです。

金融機関を取り巻く環境につきましては、少子化・高齢化の進行やさらなる金融緩和政策による貸出金利回りの低下、あるいはFinTechに代表されるようなIT化や生活様式の変化など、今後ますます厳しく、また大きく変化していくことが予想されます。

こうした中、当行は第5次中期経営計画「ビジョン75 いい銀行づくり」(平成26年度～平成28年度)の最終年度として、こうした変化に対応した、あるいは次なる変化を先取りした経営を実践してまいりました。

その結果、個人預金および法人預金ともに堅調に増加し、預金および譲渡性預金の合計で期中3,837億円増加して、期末残高は7兆5,959億円となりました。

貸出金は個人・法人向けともに積極的な対応に努めました結果、期中3,805億円増加し、期末残高は4兆9,869億円となりました。

また、収益面は貸出金や有価証券の運用利回りの低下による厳しい環境が続きましたが、純利益は目標としていた175億円を上回る結果で第5次中期経営計画を締めくくることができました。

平成29年4月からは新たに、第6次中期経営計画(平成29年度～平成31年度)をスタートさせております。本計画をスタートさせるにあたり、「お客さまの期待に応える京都銀行」という「ありたい姿」を再確認いたしました。そして、「お客さまの期待に応える」ためには、サービス業の原点に立ち戻り、どうやってお客さまとのつながりを強めていくか、どうやってお客さまの求めているものに応えていくかを徹底的に見つめなおす視点を普段から持ち、最適なタイミングを逃さぬようスピード感をもって行動に移していくことが何よりも重要であると考え、本計画を「Timely & Speedy」と名付けました。

「お客さまの期待に応える京都銀行」が

CONTENTS

Top Message	P.1
第6次中期経営計画	P.3
「Timely & Speedy」	
京銀証券株式会社開業	P.7
移動店舗車 京銀「ながーい、おつきあい。」号	P.8
法人・個人事業主のお客さまへの取組み	P.9
個人のお客さまへの取組み	P.13

京都銀行の取組み	P.15
チャンネルの充実	P.17
決算のご報告	P.19
地域における預金・貸出金の状況	P.21
京都銀行について	P.22
店舗ネットワーク	裏表紙

第6次中期経営計画「Timely & Speedy」では、「コンサルティング機能の発揮～つなげる～」を活動のメインテーマに、広域型地方銀行としてさらなる成長・発展を目指してまいります。

個人のお客さまには、「未来に繋げる、親から子・子から孫へ繋げる」のコンセプトのもと、金融運用商品のご提案・アドバイスなど、ライフプランに応じた資産形成のお手伝いに注力してまいります。

一方で法人のお客さまには、「お客さま同士を繋げる、事業拡大に繋げる、海外へ繋げる、次世代に繋げる」のコンセプトのもと、事業の拡大や承継のご支援など、当行の強みである店舗ネットワークを活かしたきめ細かいサービスで対応し、質の高い金融仲介機能を発揮してまいります。

そして、これまでのカルチャーや体制・仕組の革新にも臆さず速やかに取り組み、京都銀行グループ各社との緊密な連携のもと、多様な金融サービスをご提供することで、お客さまと地域社会からのご期待にしっかりお応えしてまいります。

なにとぞ、今後とも格別のご支援、ご高導を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成29年7月

取締役頭取

土井 伸宏



私たちの目標です